

広報 おおの



大野ええとこ⑰

きりふり

霧降の滝 (下打波)

	ページ
平成14年度財政公表……………	2～ 3
フォレストタウン……………	4
大野市景観賞など候補募集……………	5
市職員募集……………	8
市民のページ……………	10～11
お知らせ……………	14～15

URL <http://www.city.ono.fukui.jp/>
E-MAIL yamabiko@city.ono.fukui.jp

平成15年(2003年)

8月号

No.695

古紙配合率100%再生紙を使用しています



歩道のバリアフリー化などが行われた三番線

平成14年度の会計決算がまとまりました。一人ひとりの暮らしと密接なかかわりのある『市の財政』。納められた税金がどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

おおのの家計簿です

平成14年度
財政公表

一般会計

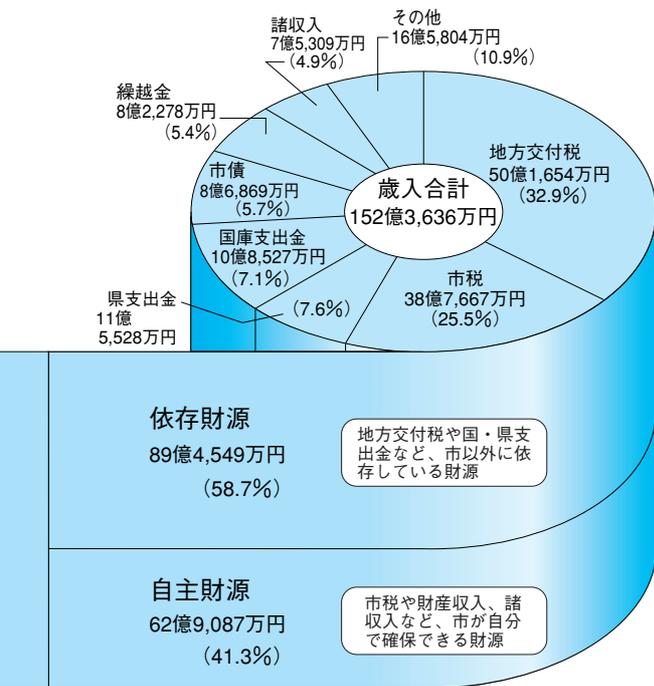
歳入

歳入総額は、百五十二億三千八百三十六万円（前年度比二・九ポイント減）。

歳入全体で最も多いのが地方交付税で、全体の三二・九％を占めています。この地方交付税は、自主財源が乏し

い自治体に対し、国から交付されるものです。市民税や固定資産税など自主財源の大黒柱となる市税は、全体の二五・五％でした。

このほか、市の借入金となる市債は、十四年度末（一般会計）現在高で、約百九億円となっています。



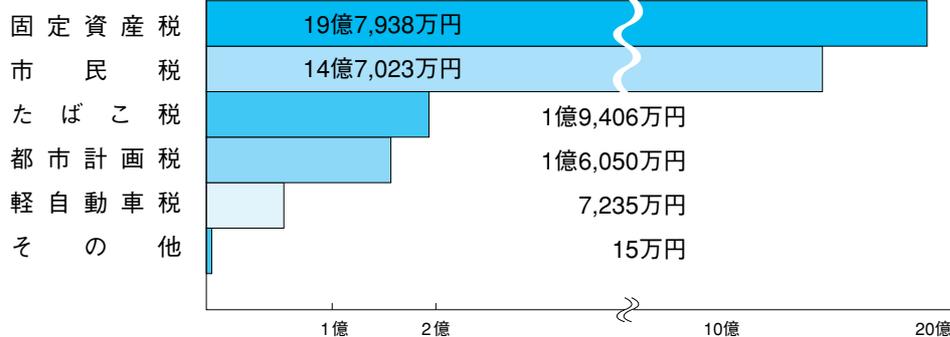
依存財源
89億4,549万円
(58.7%)

地方交付税や国・県支出金など、市以外に依存している財源

自主財源
62億9,087万円
(41.3%)

市税や財産収入、諸収入など、市が自分で確保できる財源

市税の内訳



市民一人当たりの市税負担額

9万6,466円 (9万9,611円) () 内は前年度

(36万7,114円) () 内は前年度

項目	金額	前年度
農林水産業費	32,044円	(38,203円)
商工費	16,642円	(14,045円)
消防費	12,923円	(13,212円)
その他	12,640円	(14,567円)
議会費 労働費 災害復旧費		
固定資産税	49,254円	(48,064円)
市民税	36,585円	(40,862円)
たばこ税	4,829円	(5,053円)
都市計画税	3,994円	(3,897円)
軽自動車税	1,800円	(1,730円)
入湯税	4円	(5円)
特別土地保有税		



改築工事が進む富田小学校

歳出

歳出は、百四十三億二百五十六万円（前年度比三・八ポイント減）でした。
 目的別の決算では、民生費（一九・二％）、土木費（一三・七％）、教育費（一三・一％）など、性質別の決算では、人件費（二〇・一％）や、普通建設事業費（一九・四％）物件費（一四・九％）などが大きく占めています。

企業会計決算額

水道事業

収益的 収 支	歳入	1億1,917万円
	歳出	1億1,917万円
	差引	0円
資本的 収 支	歳入	6,270万円
	歳出	1億604万円
	差引	△4,334万円

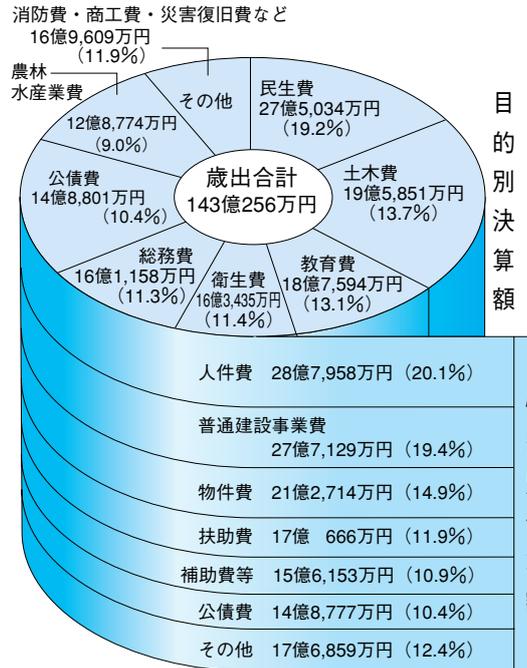
（不足額は、留保資金で補てん）

特別会計決算額

	国民健康保険事業	
	歳入	28億303万円
	歳出	26億7,576万円
	差引	1億2,727万円
	老人保健事業	
	歳入	46億7,374万円
	歳出	46億6,769万円
	差引	605万円
	簡易水道事業	
	歳入	7,629万円
	歳出	7,052万円
	差引	577万円
	農業集落排水事業	
	歳入	12億5,117万円
	歳出	12億3,556万円
	差引	1,561万円
	下水道事業	
	歳入	16億9,019万円
	歳出	16億9,019万円
	差引	0円
	介護保険事業	
	歳入	22億3,806万円
	歳出	21億7,015万円
	差引	6,791万円

目的別決算
 事業の目的ごとに内容をまとめた決算です。

性質別決算
 支出が義務づけられるものや投資的なものなど、性質ごとに分類した決算です。



主な建設事業の決算額

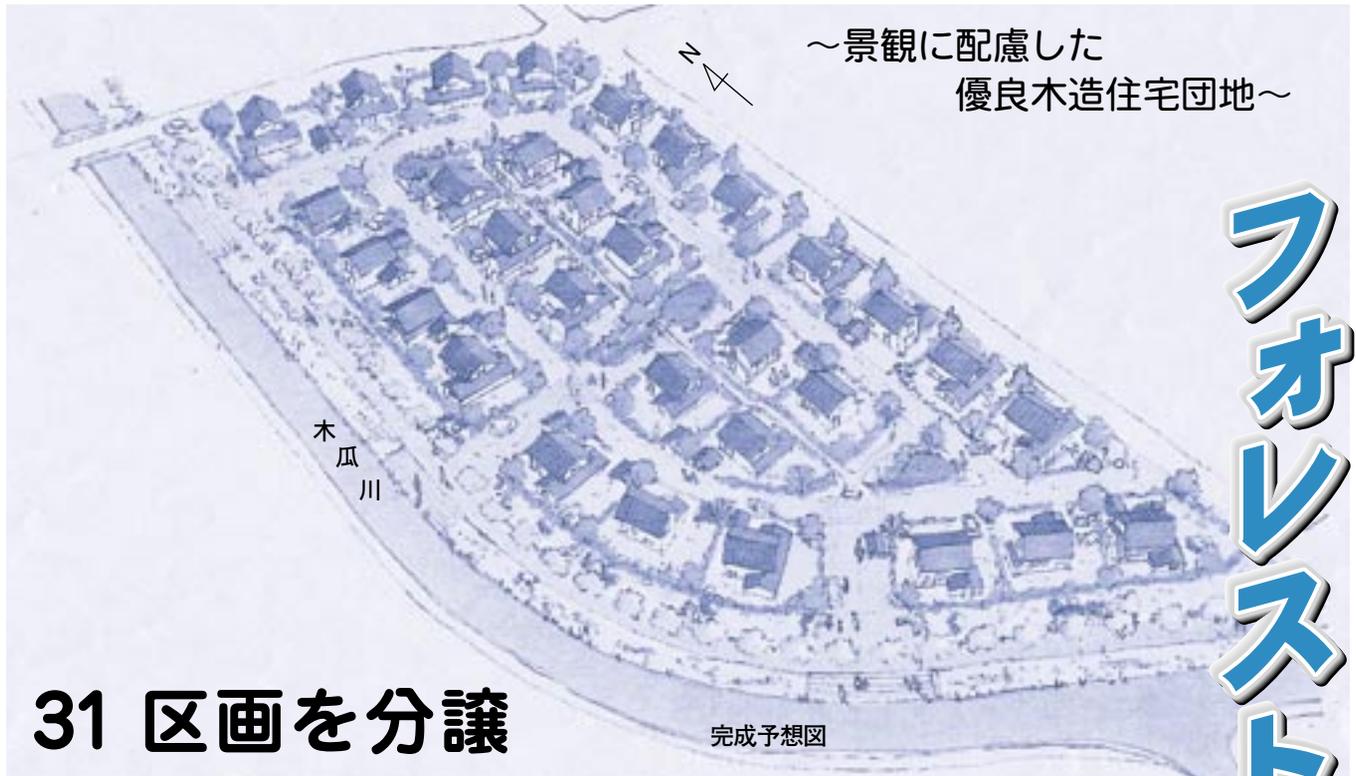
- ◆小学校施設整備事業（教育費・富田小学校改築工事など）…………… 3億4,021万円
- ◆北部第三土地区画整理事業（土木費）…………… 2億1,069万円
- ◆市単道路・河川整備事業（土木費・市道や側溝の改修工事など）…………… 2億3,906万円
- ◆特定交通安全施設等整備事業（土木費・三番線の整備など）…………… 1億9,268万円

歳出を市民一人当たり換算すると 35万5,901円

民生費	土木費	教育費	衛生費	総務費	公債費
68,439円 (66,093円)	48,735円 (51,077円)	46,680円 (49,572円)	40,669円 (38,216円)	40,102円 (49,393円)	37,027円 (32,736円)

～景観に配慮した
優良木造住宅団地～

フォレストタウン



31 区画を分譲

完成予想図



緑豊かな景観を備えた閑静で落ち着いた雰囲気のある低層住宅地区で、徒歩圏内に保育園や小学校・中学校があるほか、上下水道を完備。国道一五七号に近接し、生活に必要な店舗が近くにあるなど、利便性の高い地区となっております。

地域全体で景観づくり

優良木造住宅団地『フォレストタウン』では、新築する建築様式や外観などに一定の基準を設けています。これは

地域全体で、景観に配慮した地区を形成しようというものです。

位置 中野・中荒井地係

(北部第三土地区画整理事業区域内)

宅地面積 約 75 坪～ 114 坪

問い合わせ先 都市整備課住宅緑地係

(TEL66・1111 内線355)

建築物の制限など

敷地面積の最低限度

2300平方メートル

壁面の位置

壁面または柱の面は、道路境界線および隣地境界線から1メートル以上あける

構造、形態、工夫や趣向

①構造は木造で、積雪を考慮した部材寸法を使用

②屋根は勾配屋根を基本(片流れは避ける)とし景観形成上支障がないこと

※日本かわらぶきを推奨

③車庫は建物に取り込むことを推奨。別棟とする場合、建物と調和したもの

④青・赤・黄など極端な原色を避け、建築物の形態などが周辺の景観と調和するよう心がける

⑤材料は、県産材の活用につとめる

垣またはさくの構造

道路や公共用地に面する敷地に垣やさくを設ける場合は、高さ1・8メートル以下の生け垣とする。

やむを得ずブロックなどで構築する場合は、地盤面から60センチ以下とする

面から60センチ以下とする

大野市景観賞 景観特選おの

候補を募集

大野市景観賞

優れた景観づくりに貢献している建築物や工作物をはじめ、良好な景観維持に貢献している団体などを表彰するもので、建築部門と活動部門の二部門があります。

平成九年から始まり、今回で四回目となります。

建築部門

市内の建築物や工作物、それらが複合する景観などで、次の条件を満たすもの
 ・デザイン、色彩などが周辺環境に調和し、優れた景観を創出しているもの
 ・歴史的な景観に調和するもの、または自然環境の保全に寄与しているもの
 ・地区のシンボルとして、優れた景観づくりに寄与しているもの
 ・建築されてから五年を経過していないもの

● 建築物（個人住宅・集合住宅）

宅・店舗など）

● 工作物（塀・門・生け垣・庭園・照明塔など）

活動部門

市内で景観の維持向上に努めている団体など

※例

・ まちなみ保全などのまちなみづくり活動
 ・ ごみ拾いや清掃などの環境美化運動

景観特選おの

将来に残したいと思う大野らしい建築物や風景・自然環境などを、市が認定し広く知ってもらうもので、平成十三年度から行っています。
 認定したものについては、表札の掲示や、パンフレットなどへの掲載を通じて、広く一般に紹介する予定です。

対象

市内全域にある建築物（個人住宅・公共建築物・寺社・店舗・看板など）や自然景観などで大野らしく将来に残したいもの

募集要項

「大野市景観賞」「景観特選おの」ともに対象となるものを自薦・他薦を問わず、広く募集します。
 必要事項を記入の上、写真を添えて提出ください。

必要事項

● 応募する人の住所・氏名・電話番号

● 景観の名称・所在地・推薦や応募の理由

応募締切日

9月30日※

※応募されたものについては、大野市都市景観審議会が審査を行います。

審査の結果などは、後日予定している「都市景観シンポジウム」で、発表を行います。

応募・問い合わせ先

都市整備課計画係 ☎66・1111 内線353

例市議会

環境に配慮した住宅設備への補助など

一般会計に二億千百万円余を追加

第三百二十六回の定例市議会が、六月十日から二十五日まで開かれました。「一般会計補正予算案」や「老人保健特別会計補正予算案」など九議案を審議。いずれも原案どおり可決・同意されました。

また、このほかに市会案が三件提出され、いずれも原案が

どおり可決されました。

一般会計では、歳入・歳出にそれぞれ二億千六十万二千円が追加され、予算総額は百四十二億二千三百六十万二千円となりました。前年同期と比べ一・二%の減です。

主な事業は、太陽光発電設備など、環境に配慮した住宅設備の工事費用に補助を行う環境基本計画推進事業をはじめ、市道の整備などです。また今回、庁舎建設基金への積み立てを計上しました。

人事案件

監査委員と固定資産評価員の選任について、同意されました。

監査委員

川田 重一 (64歳・中荒井)

固定資産評価員

飯山 靖一 (58歳・清瀧)

※敬称略

6月補正 一般会計の主な事業

- ◆ 総務費
庁舎建設基金積立……………100,000千円
- ◆ 衛生費
環境基本計画推進事業
(太陽光発電設備などの工事費用への補助)
……………12,600千円
- ◆ 土木費
緊急地方道路整備事業 (市道木本南北8号線)
……………33,342千円

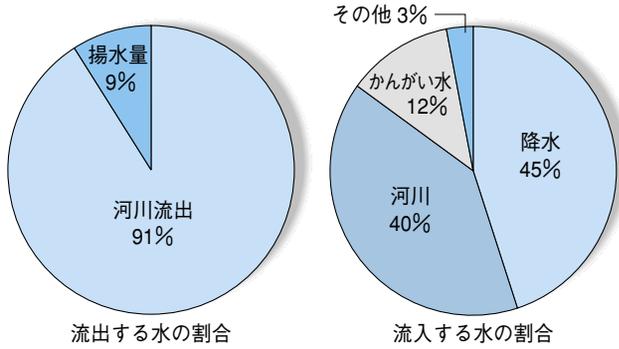
「ダイジェスト版を作成し配布へ」

大野市地下水総合調査

平成十三〜十四年度にかけ行った地下水総合調査の概要報告書がまとまりました。

この調査は、地下水の保全と有効利用に向けた「大野市地下水管理計画」を策定する基礎資料を得るために行ったものです。

調査費用は二年間で二千二百十萬五千元。調査は地形や地



質との地下水のかかわり、気候・水位・水質・河川の流量など基礎的な内容や、地下水の利用状況などを集計。これらデータを盛り込み、総合的に水が入る量・出る量の実態を再現する、地下水シミュレーションモデルの作成などを行いました。

なお調査結果をもとに地下水の状況などを取りまとめた「ダイジェスト版」を作成し全戸に配布する予定です。

生活用水で九%流出

グラフは真名川より西の地域について、平成九年〜十三年平均の地下水のかん養量や河川への流出量など、水が入る量・出る量について割合を推計したものです。

これによると、地下水の約九〇%は河川へ流出し、生活用水など地下水からくみ上げられている量は、約九%であることなどが分かりました。

このほか調査により、一年

間の水が入る量・出る量が、ともに約九百九十万立方メートルであることや、これまで「一日に二十万立方メートル」とされていた水の流動量が「約二十六万八千立方メートル」であることも分かりました。

地下水管理の考え方

報告書では、今後の地下水管理に、次のことへ留意する必要がありますと述べています。

【地下水管理の原則】

- 地下水について大いに関心を持つ
- 地下水を汚さない
- 融雪に地下水を使わない
- 管理・保全に費用負担が必要なることを確認する
- 子孫のために新しい地下水資源を生み出す

またこのほか、水問題を総合的に扱うプロジェクトチームの新設や、専門家を育てる環境づくりの必要性などが報告されています。

問い合わせ先 生活環境課

環境係 (☎ 66・11111 内線 462)

「悩み相談など、気軽に集える場」

交流ひろば「ちゅくたっく」



七月十九日から、子育て交流ひろば「ちゅくたっく」がショッピングモールVIO内にオープンしました。

これは乳幼児を持つ親子などが、気軽に集い、交流できる場所となるものです。

スタッフが常駐

広場には、乳幼児が遊ぶことのできる、おもちゃや絵本などを備えたスペースをはじめ、親同士がいすに座って子育ての楽しさや悩みなどをおしゃべりするよう交流スペースを設けています。

またインターネットなどを

活用し、子育てに関する情報収集のできるスペースや、休憩スペースのほか、外から見えないよう仕切られた、授乳スペースや相談コーナーなどを設けています。

スタッフ（保育士など）が常駐して、相談などを受け付けるほか、利用者の要望などを聞きながら、子育てに関する講演会を開くことなどを計画しています。

当分の間、VIOの営業日に開いています。時間は、午前十時〜午後七時三十分です。ひろばで行う内容

- ・親子が交流や集うことのできる場所の提供
- ・子育てに関する相談や援助
- ・市の子育てに関する情報などの提供
- ・子育てや子育て支援に関する講習の実施
- ・その他子育てに関すること

問い合わせ先 福祉課児童福祉係

(☎ 66・11111 内線 475)

おおの型

「自立と共生を目指して」

『食・農業・農村ビジネス』まとめ

おおの型『食・農業・農村ビジネス』は、市農政の新たな構想として策定しました。

※ビジョン：理想像、未来像、構想

農業と農村の発展に向け、積極的・計画的な施策の推進を狙っています。

ビジョンの内容

現在、農業者には産地間競争などに打ち勝つため、従来の補助金に頼る体質から脱却しコスト意識を持って努力することが求められています。その一方で、自然環境の保全をはじめ、高齢者福祉や学校教育における農業体験導入など、利潤追求とは別の側面も求められています。

また消費者による安全・安心な農作物を求める声など、農業に対する要求は、年々多様化しています。

このような背景から「自立と共生」を概念とする五つの基本的な柱から「おおの型」と言える、農業と農村の持続的な発展を目指しています。

経営体の育成と自立

- ① 個別経営体と集落・地域営農組織の育成、農地流動化の促進による、それぞれの法人化の推進
- ② 多様な農業者の融合と役割分担による相互補完
- ③ 将来の担い手育成のための食農教育の推進

農業と自然環境との共生

- ① 未利用有機性資源を有効活用した有機農業の推進
- ② 発酵文化のまちづくり
- ③ 環境保全型農業農村整備事業の展開

農業者と消費者との共生

- ① 消費者が求める安全・安心で、魅力あふれる農産品の生産振興
- ② 伝統日本食の復権と地産地消などの推進

集落と集落との共生

- ① 生産組合の広域化
- ② 農村集落の連携

農村と都市との共生

- ① 都市を主眼に置いた農村交流などの推進
- ② 優良農地の保全

《自立と共生》

現在の和泉村役場は支所へ

《第6回大野市・和泉村任意合併協議会》

七月四日、和泉村ふれあい会館で第六回任意合併協議会が開かれました。

第五回に続き「新しいまちづくり計画（案）」の話し合いが行われたほか、事務組織体制の取り扱いなどを協議。合併後、現在の和泉村役場を支所とすることや、和泉村と大野地区消防組合の一般職員を、新市へ引き継ぐことなどが決まりました。

この支所の組織は「住民サービスの低下をきたさないこと」を基本とし、合併までに調整。段階的な再編や見直しを行うこととしています。

新市のまちづくりへ重点プロジェクト

今回、新市のまちづくりに向け、優先的、重点的に取り組む重点プロジェクトとして次の五つが定められました。

【交通ネットワーク】

県の東玄関と位置つけた道路網の整備促進による広

域・地域間交流の推進。公共交通機関の利用促進や交流に向けた交通の確保

【地域情報化】

情報通信基盤ネットワーク化などによる、住民生活や産業活動の高度化

【森林グランドデザイン】

自然環境を保護・保全、活用した総合的な事業展開や、資源をいかした保養地としての振興

【学びの場】

新市全体の歴史文化・自然環境をいかした学習の場による、身近な学習・体験の拠点づくりや人づくり

【市街地活性化】

交流・観光、地域産業活性化の拠点としての市街地整備。新市全体にある資源や人材などのネットワークづくりによる活性化

問い合わせ先 大野市・和泉村任意合併協議会事務局（

☎ 66・1600）

職員の募集

市職員

◆一般採用◆

採用予定人員

【一般職】

事務Ⅱ2人程度▼技術Ⅱ土木または建築2人程度

【業務職】

調理師Ⅱ1人程度

受験資格

【一般職】高校卒業程度の学力を有する人で、昭和53年4月2日～昭和61年4月1日までに生まれた人

【業務職】調理師Ⅱ昭和48年4月2日～昭和61年4月1日までに生まれた人（調理師免許を取得している人、または平成16年3月31日までに取得見込みの人）

試験日程

【一次】教養試験・適性検査（業務職は適性検査のみ）
Ⅱ9月21日（有終会館）

【二次】作文試験・口述試験
健康診査Ⅱ10月26日（市役所）

申込受付期間 8月1日（金）～21日（木）（当日の消印有効）



◆社会人採用◆

採用予定人員

【一般職】技術Ⅱ土木または建築1人程度

受験資格

就業歴が平成16年3月末で5年以上ある昭和46年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた人（土木または建築の専門技術を習得していることが望ましい）

試験日程

【提出】作文Ⅱ申し込み時に「社会人採用試験の応募に際して」の課題で提出

【試験】教養試験・適性検査・作文試験・口述試験・健康診査Ⅱ10月19日（市役所）

申込受付期間 8月1日（金）～9月12日（金）（当日消印有効）

◆申し込み手続き◆

申込書の請求 直接、市総務部総務課職員係へ。郵便の場合は、封筒の表に「○○職試験申込書請求」または「社会人採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先を明記したものと120円切手を同封のうえ請求

申し込み方法

申込書に必要事項を明記のうえ、写真を張り直接または郵送で提出

消防職員

採用予定人員 消防吏員1人

受験資格 高校卒業程度の学力を有する人で昭和53年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた人

試験日程 【一次】教養試験・消防適性検査Ⅱ9月21日（有終会館）【二次】口述試験・作文試験・身体検査・体力検査Ⅱ10月25日（大野地区消防本部）

申込受付期間 8月1日（金）～21日（木）（当日の消印有効）

申込書の請求 直接、大野地区消防本部総務課へ。郵便の場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先を明記したものと120円切手を同封のうえ請求

申し込み方法 申込書に必要事項を明記のうえ、写真を張り直接または郵送で提出

申込書請求・申し込み・問い合わせ先 〒912-1000 大野市天神町7-14 大野地区消防本部総務課（☎66-0119 内線222）

新しい農業委員決まる



権守榮 会長

六月三十日で任期満了となった市農業委員会の新しい陣容が決まりました。

農業委員会は、六月十五日に告示された選挙で無投票当選となった二十一人に、市議会推薦の三人と農協推薦一人を合わせた二十四人からなり、任期は三年です。

七月十一日に開かれた総会で、会長に権守榮一さんが、会長職務代理者には土本けい子さんが選ばれました。農政委員会委員長には松山正男さん、同副委員長には駒繁行さんが、農地委員会委員長には宇野正幸さん、同副委員長には穴田與志則さんがそれぞれ選出されました。

◆新農業委員（敬称略・50音順）

◆第一選挙区

【大野・下庄・乾側】

宇野正幸（54歳・友江）
駒繁行（62歳・西市）
嶋田庄左衛門（63歳・南新在家）

◆農協推薦

吉田成一（67歳・鎌掛）

前田幸一（61歳・東大月）
松田秀夫（69歳・犬山）
森田重治（68歳・篠座）

◆第二選挙区【小山・上庄】

穴田與志則（59歳・木本）
伊東勝治（65歳・下郷）
権守榮一（60歳・平澤領家）
土屋順信（67歳・阿難祖領家）
庭榮治（60歳・森政領家）
松田洋一（64歳・右近次郎）
森谷和彦（66歳・稲郷）

◆第三選挙区

【富田・阪谷・五箇】

櫻田確治（62歳・金山）
常見哲治（60歳・土打）
藤堂二男（62歳・養道）
林勝彦（61歳・土打）
中村義則（54歳・下麻生嶋）
松山正男（66歳・富嶋）
米村壽（56歳・萩ヶ野）

◆市議会推薦

土本けい子（54歳・庄林）
長田泰子（56歳・中据）
帰山幸子（53歳・下唯野）

新型肺炎SARS



世界中で調査研究

SARSは中国広東省で発生しました。香港や北京などアジア地域をはじめ、台湾、カナダ、シンガポール、ベトナムなどへも拡大し、現在、世界中の公衆衛生担当局がSARSの危険性に対し、強い危機感を持って調査研究を行っています。

この感染症の原因は新型のコロナウイルスで、人にその免疫がないために、感染が広がりやすくなっています。また、はつきりとした治療

新型肺炎SARS（重症急性呼吸器症候群）は、新しく発見された感染症です。六月にWHO（世界保健機関）が世界全域で、ほぼ制圧状態にあると発表しましたが、一年は、監視態勢の継続が必要だといわれています。引き続き注意しましょう。

法が見つかっていないため、症状を抑える薬で対処しているのが現状です。

コロナウイルスは、気温の低い冬に流行し、春先になるとなぜか消えるようですが、根絶は困難であるといわれています。

重症化は一〜二割

主な症状としては、
・三百度以上の高熱
・たんを伴わないせき、呼吸困難
などで、胸部のレントゲン写真を見ると、肺炎の症状であるスリガラスのような影が見られます。

また、初期はインフルエンザの症状と似ていて、頭痛をや筋肉のこわばり、食欲不振などをはじめ、全身のたるさや下痢、発疹（はっしん）などの症状が見られることがあります。

八割以上の人が、一週間程度で自然に回復し、一〜二割の人が重症化します。感染による死亡率は二十四

～ちょっと気になる健康料理～

ヒジキとオクラの酢の物

（1人分＝エネルギー：21kcal 塩分：0.5g）

ヒジキはカルシウムや鉄、食物繊維などを多く含んでいます。またオクラ独特のぬめりには、整腸作用やコレステロールを減らす作用があり、便秘や夏バテの解消につながります。

- ①ヒジキはたっぷりの水に浸して戻す。洗ってから、さっとゆでて、よく水気を切って冷ます。
- ②オクラはゆでてから小口切り（端から薄く刻んだ切り方）にする。ミョウガも小口切りに。
- ③ヒジキ、オクラ、ミョウガを調味料であえる。

材料（4人分）

乾燥ヒジキ・・・10g
オクラ・・・100g
ミョウガ・・・20g

調味料

しょうゆ・・・小さじ2
砂糖・・・小さじ2
水・・・小さじ2
酢・・・大さじ1と1/3

メニュー考案：食生活改善推進員（若葉会）

まずは症状を電話で

予防には、旅行を控えるなど、流行している地域へ出かけないことが一番です。所用により、流行している地域を訪れる場合は、マスクの着用、うがいや手洗いの励行が効果的とされています。また、日ごろから体力をつけて、病気に対する抵抗力を

高めておくことも重要です。流行地域から日本へ戻り、十日以内に症状が表れたら、まず相談窓口へ電話で症状を相談し、その後指示に従うようにしてください。

【相談窓口】

県SARSホットライン

（24時間対応）

090・7747・9701

090・7744・9894

奥越健康福祉センター

平日 66・2076

夜間休日

090・5685・7209

大野市保健センター

65・7333

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター（☎65・7333）

ぐるーぷ登場

2004カウントダウンプロジェクトチーム

2004カウントダウンプロジェクトチームは「大野が面白くなるような年越しイベントをやるう」と、二十歳代の若者が中心となつて、つくったグループです。今年の六月に設立集会を開き、現在約五十人で活動しています。

「三年前、亀山で行われた年越しイベントに感動しました。冬の夜空に打ち上げられた花火を見て、自分たちでも何かやりたいと、朝まで友達と語り明かしたことをよく覚えています」と、委員長を務める真柄正宏さん。

今回のイベントは、来年、市が五十周年を迎えることを知って企画。少しでも多くの人に参加してもらおうと、既存の団体に頼らず、チラシを配りながら一人ひとりに呼び掛け、メンバーを募ったそう

です。また八月の「おおの城まつり」会場では、本番の勉強を兼ねたPRイベントを予定。風船を使った参加型アートの作品づくりをはじめ、演奏やダンスの披露など、訪れた人たちも一緒に楽しんで楽しめる企画を考えているそうです。

「知らない人同士が集まり、一つのことを達成する充実感を味わいたい」「帰省してきた人に”大野が盛り上がった”という感じが欲しい」「子どもからお年寄りまで、みんなを巻き込んで楽しめるイベントにしたい」とメンバーの皆さん。

最後に委員長が「大野に何も無いと言っただけでなく、自分たちで



今月のスナップ



どろりんぴっく
(阪谷小学校)

■「広報おおの」では、皆さんの活動や意見など、さまざまな内容を募集しています。あなたも紙面に参加しませんか。
〒912-8666 大野市天神町1-1 市役所情報広報課広報広聴係 (☎66・1111 内線441)
yamabiko@city.ono.fukui.jp

面白くすることを考えたい。途中参加も大歓迎、気軽に遊びに来てください」と笑顔で答えてくれました。

興味のある人はホームページ (http://www.mitene.or.jp/~ohakune/2004CD.htm) にアクセスしてください。

ちょっとおしえて

税金Q & A その②

- 評価額Ⅱ①×②
- ① 同じ家屋を再度新築する費用 (再建築価格) ※屋根・柱・壁などの材料費や労務費など
 - ② 建てられてから年数が経過したことによる家屋の傷み具合などを数値化したもの (経年減点補正率)

住宅や店舗など家屋が古くなると、税金(固定資産税)の額は下がるように思えるのですが、下がっていないのはどうしてでしょうか。

家屋にかかる固定資産税は、家屋の価格(評価額)を基に、その課税標準額を算出し税率を乗じて求められます。

税額Ⅱ課税標準額×税率

家屋の場合、この課税標準額は、家屋の価格(評価額)となります。

この『評価額』は現在の物価などに基づいて、再度同じ家屋を建てたら、いくらかかるのかという「再建築価格」に、建ててから年数が過ぎたことによる傷み具合などを数値化した「経年減点補正率」を乗じて求められます。

この評価額は、三年ごとに見直しが行われます。そのときに、再計算した額と、以前の額とを比較し、低い方を新しい評価額とします。

ここ数年に建てられた、比較的新しい家屋の場合、建築資材の価格が安くなってきたことなどから、その額は下がる傾向にあります。

しかし建築年数が古い家屋の場合、当時の建築物価が、現在と比べて相当低かったことなどから、近年の建築物価の値下がりや、年数の経過による傷み具合などを考慮しても以前の額を超えてしまうため、その評価額は据え置きとなります。

このような理由から固定資産税額は、必ず下がるというものではないのです。

問い合わせ先 税務課資産税係 (☎66・1111 内線426)

よんでみねの 図書館の本



『奥の細道』を歩く』

松井利彦 監修 真島満秀 写真
山と溪谷社刊

松尾芭蕉の「奥の細道」を写真
をメインで紹介した本。文中で紹介
される俳句には、現代訳と解説
が添えられ、意味や背景などが分
かりやすく工夫されています。

旧暦の三月、江戸の深川を出発
した芭蕉は、八月に福井へ入りま
した。敦賀の気比神宮に参拝し月
の美しさなどに感動『月清し遊行
の持てる砂の上』と詠みました。

このほか旅の全行程や略年譜も
掲載されています。「旅をすみか」
とした芭蕉の足跡を、美しい写真
と一緒にたどってみませんか。

こんにちは

松田浩次さんは、子どもか
らお年寄りまで気軽に音楽を
楽しんでもらおうと「平蔵ふ
れあいコンサート」の企画や
運営を行っています。



「平蔵の生演奏」を企画 松田浩次 さん（46歳・大和町）

規模のコンサートを継続して
開くことで、身近に音楽に親
しめる環境を作ろうと思いつ
めました。海外で見られるよ
うな、音楽を楽しむことが生
活の一部にあり、毎日のよう
に街頭で演奏が行われるよう
な文化、それを大野で実現し
たいと思っています」

今年、より多くの人に、
いろいろな種類の音楽を楽しん
でもらおうと、幅広い内容で
コンサートを企画。六月に開
いた津軽三味線には、約百二
十人ものが集まりました。

「最近CDやラジオ、テ
レビから、聴きたい音楽を気
軽に聴くことができるようにな
りました。だからこそ、目
の前で繰り広げられる演奏を
じかに体験する機会が重要な
と思うんです。演奏している
人の表情や手の動き、息遣い
など、体全体から伝わるもの
を感じてほしいですね」

出演者からも「演奏が進む
につれ、会場に音がなじんで
いくようだ」「お客さんとの
距離が近いから、演奏してい
ても楽しい」とコンサ
ー会場などへ評判は上々。
「ぜひ会場に来て、生の感
動を」とほほ笑む松田さん。
今後、九月にマリリンバとピア
ノ、十二月にはジャズの演奏
会を予定しているそうです。

コンサートの問い合わせな
どは、文化振興室まで連絡し
てください（☎66・1111
内線547）

おおのっこりぽーと!!

育てよう思いやりの心

小山小学校



小山小学校では思
いやりの心を育てよ
うと、大野荘やむつ
み園で生活する人た
ちと長年にわたり交
流を続けています。
年に一度、学校で行うイベ
ント「いふりっこ祭り」に施
設の人を招くほか、体育大会
では、一緒にオリジナルのゲ
ームなどを行います。
また施設でクリスマス会な
どが開かれるときには、反対
に子どもたちが訪問。歌や演
奏、劇などを発表し、楽しい
ひとときを過ごします。

今年、これら毎年の活動
に加え、さらなる交流を企画
しました。
一〜二年生は、施設の人た
ちへ、きな粉を使った手作り
お菓子のプレゼントを企画。
現在、学校の畑で、材料とな
るダイズを一生懸命育ててい
るようです。



マット作りを体験する子どもたち

消防組合決意新た

大野地区消防組合の設立30周年記念式典が6月29日、有終会館で開かれました。消防職員や大野・和泉の両消防団員など約480人が参加。節目を祝うと同時に、安全で安心して暮らせる地域づくりに向け決意を新たにしていました。



「水辺の楽校」^{がっこう}へ現地見学

真名川の魅力ある水辺の復元を目指す「水辺の楽校プロジェクト」。この実施計画策定に向け、現地を歩いてアイデアなど出し合うワークショップが6月22日に開かれました。今回出された内容などを参考に、15年度中に計画を取りまとめる予定です。

店頭で有機野菜いかが

有機農法に取り組む「スターランド・有機自然農法研究会」の野菜販売部が、市内スーパーで対面販売を始めました。参加したメンバーらは、このような活動を通して、有機野菜の素晴らしさをより多くの人に広めたいと張り切っていました。



「介護れんじゃー」のPR活動

介護保険制度をボランティアで啓発する「介護保険れんじゃー部隊」の活動が、6月23日から始まりました。地域や団体などを対象に3月までに24回の説明会を予定。市職員や介護支援専門員らと一緒に制度のPRに努めます。

そば打ちの腕競い合い

第8回全日本素人そば打ち名人大会の大野地区予選。市内外から7人が参加し、スターランドさかだにて腕を競い合いました。会場には「スターランドそば愛好会」のメンバーも集まり、その腕前に熱い視線を送っていました。



話題の広場

話題の広場

合併の住民説明会

7月12日～30日にかけて、各公民館などを会場に市町村合併の住民説明会を開催しました。参加した人たちは、和泉村を「編入」とした合併方式や合併期日、新しいまちづくり計画（案）などの説明に熱心に聞き入っていました。



少年サッカー全国大会へ出場

7月28日～8月2日にかけて行われる「第27回全日本少年サッカー大会」への出場を前に、フェンテ大野FCジュニアのメンバー22人が、市長・議長・教育長を表敬訪問しました。

田んぼで自然観察会

水田などを活用し環境教育を行うNPO法人「田んぼの学校越前大野」と県自然保護センターが自然観察会を開きました。家族連れなど約40人が参加し、田んぼや水路など水辺に息づく生き物の生態を学びました。



自転車の遠乗りイベント

県内初となる長距離サイクリングを楽しむイベント「福井グランフォンド」が6月15日、六呂師高原を発着点とする特設コースで開かれました。約110人の愛好者がハーフ（70㌾）とフル（140㌾）のコースに分かれ、奥越路を駆け抜けました。



かしこい消費者になろう

生活に密着したテーマから、かしこい消費者になる知識を身に付ける「消費者カレッジ公開講座」が7月14日～8月25日にかけて行われました。参加した人たちは「パソコンを使った家計簿」や「上手なごみの処分」などの内容を熱心に学んでいました。

身近な話題をお知らせください。

お知らせ 8月



太陽光発電など

住宅設備への補助

生活環境課

環境に配慮した住宅設備の
工事費用に補助を行います。
対象となる設備

- ① 太陽光発電設備
- ② 屋根融雪・雨水再利用設備
- ③ 太陽熱温水設備

補助件数

①②：各10件 ③：2件
※申し込み多数は抽選

補助金額

各工事費用の3分の1以内
(ただし①③は、新エネルギー財団の補助金額分を減額した金額)

補助上限額

- ①② 各60万円
- ③ 30万円

その他 補助の対象となるには一定の要件を満たす必要があります。詳しい内容は問い合わせ先まで

申し込み・問い合わせ先
申込締切日 8月29日(金)

市営住宅の入居者募集

都市整備課

生活環境課環境保全係 (☎66・1111内線462)

●西里団地・2戸

規格 3K、風呂無・トイレ有

家賃 月額67000円～1万12000円

●中挟団地・1戸 (特定公共賃貸住宅)

規格 2DK、風呂・トイレ有

家賃 月額5万7千円

申し込み・問い合わせ先
都市整備課住宅緑地係 (☎66・1111内線356)

古雑誌 無料で提供

図書館

平成14年1月～12月に、閲覧や貸し出しを行った雑誌の一部を、無料で提供します。ご自由にお持ちください。

日時 8月8日(金)・9日(土)午前10時～午後6時
▼10日(日)午前9時～午後5時
※4カ月分ずつ、3回に分けて実施

場所 図書館力ウンター前
問い合わせ先
図書館 (☎65・5500)

お済みですか

保険料の免除申請

市民課

国民年金には、収入が少なく保険料の納付が困難な場合に、本人の申請により、保険料の納付を全額または半額免除する制度があります。

承認期間は申請した月の前月から翌年6月まで
免除を受けるために審査される前年所得には、被保険者本人だけでなく配偶者・世帯主、それぞれの所得も含まれます
離職を理由とする場合は、公共職業安定所(ハローワーク)の証明(雇用保険受

中小企業大学の實習にご協力を

中小企業大学校(国の研修機関)の研修生48人が大野市を会場に「中小企業診断士養成過程」の総合診断實習を行います。

この實習では、消費者の買い物動向や、商店街の現状・動向などについて調査を行うことから、一般の人を対象とした「買い物調査」などを予定しています。皆さんのご協力をお願いします。

期間 8月30日(土)～9月22日(日)
内容 商店街での来街者アンケート・大型店での来店客アンケートなど
その他 調査員は「中小企業大学校」の腕章をしています
調査内容などは一切公表されません
問い合わせ先 大野商工会議所 (☎66・1230)

風しんの予防接種

保健センター

対象 昭和54年4月2日～昭和62年10月1日生まれで、風しんの予防接種を受けていない人

期間 9月30日(木)まで
手数料 無料
申込方法 保健センターで交付する所定の用紙に必要事項を記入し、医療機関へ

明るい選挙標語募集

選挙管理委員会

リズムカルなものであれば俳句・短歌調などの制限は特になりません。

応募は各公民館にある応募用紙を利用ください。一人につき一標語までとします。
応募締切日 8月29日(金)
応募・問い合わせ先 選挙管理委員会 (〒912-8666 天神町1-1-1 ☎66・1111内線361)

休日急患診療所 専用電話を設置



みんなで守ろう大野の地下水 地下水保全基金へご協力をお願いします

平成12年12月から、市民の共有財産といえる地下水の保全に向け「大野市地下水保全基金」を設置しています。この基金は、市民や市内の団体などが行う

- ・保全に関し必要啓発活動や調査研究事業
- ・かん養対策事業
- ・合理的な利用のための施設整備に対する支援事業

といった、地下水の保全活動に対する補助などに活用するものです。基金は趣旨に賛同される皆さんからの寄付金などを原資としています。当市の地下水を守り、水と緑に恵まれた私たちのふるさとを将来の世代に引き継ぐため、皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ先
生活環境課環境保全係
(☎66・1111内線463)

子育てサポート事業

福祉課

病気や仕事などで、家庭での子育てが一時的に困難になった場合、1週間程度を目安に子どもを市内の児童養護施設で預かります。

●シヨートステイ事業

病気や看護などで、一時的に家庭で養育できない子どもを預かります。

●トワイライトステイ事業

ひとり親家庭で保護者の帰りが夜間になる場合、午後10時ころまで子ども(特

(に乳幼児)を預かります。

手続き・問い合わせ先 福祉課児童福祉係(☎66・1111内線475)

調理師・製菓衛生師 試験と予備講習会

奥越健康福祉センター

試験日 11月9日(日)

試験会場 大野東高校

受験料 調理師6100円▼
製菓衛生師9400円

予備講習会 調理師10月14日
④・15日⑤▼製菓衛生師10月1日⑥・15日⑦

講習会場 J Aテラル越前勝

山研修会館
講習受講料 調理師・製菓衛生師ともに1万5000円
申込期間 試験、講習会いずれも9月1日(月)～19日(金)
その他 受験には、2年間に上の調理従事経験が必要
申し込み・問い合わせ先 奥越健康福祉センター(☎66・2076)

体力年齢テスト

スポーツ課

日時 9月11日(木)午後7時～

場所 エキサイト広場

対象 20歳～64歳までの人

テスト項目 握力・立ち幅跳びなど

定員 60人

参加料 無料

申込締切日 8月27日(水)

申し込み・問い合わせ先 スポーツ課(☎66・1111内線532)

プランターで 野菜を作ろう

勤労青少年ホーム

庭やベランダでプランターを使った野菜作りに挑戦しましょう。

日時 8月31日(日)午前10時～

場所 花つみ園

定員 20人

参加料 1000円
申込締切日 8月22日(金)
申し込み・問い合わせ先 勤労青少年ホーム(☎65・7221)

B&G水泳大会

B & G海洋センター

日時 9月7日(日)午前9時～

場所 B & G海洋センター

対象 小学生

種目 自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ・板キック

参加料 500円(保険料)

申込締切日 8月26日(水)

申し込み・問い合わせ先 B & G海洋センター(☎64・1311)

各種教室の生徒募集

エキサイト広場

●吟舞(ぎんぶ)道教室

日時 8月21日～10月23日
毎週木曜日午後7時～9時(全10回)

対象 高校生以上(初心者歓迎)

定員 10人

講師 越峰流吟舞道会

参加料 500円

準備物 運動できる服装・飲み物・タオルなど

●リズム&ストレッチ教室

日時 9月5日～26日毎週

準備物 運動できる服装・飲み物・タオルなど

●リズム&ストレッチ教室

日時 9月5日～26日毎週

金曜日午後7時30分～9時(全4回)

対象 小学生以上(初心者歓迎)

定員 30人

講師 杉山美和子さん

参加料 200円(保険料含む)

準備物 運動できる服装・飲み物・タオルなど

申し込み・問い合わせ先 エキサイト広場(☎66・1433)

中国語の中級講座

市日中友好協会

日時 9月6日～10月25日毎週土曜日午後2時～(全8回)

場所 有終会館

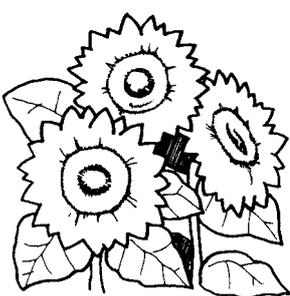
定員 20人

講師 張冬さん(福井大学教育学部留学生)

参加料 2000円

申込締切日 8月29日(金)

申し込み・問い合わせ先 市日中友好協会(☎65・845)



市民のうごき

	7月1日現在	前月比
世帯数	11,898世帯	-12世帯
人口	39,809人	-43人
内訳	男	19,035人
	女	20,774人
6月中の異動	転入	51人
	転出	90人
	出生	27人
	死亡	31人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成15年 6月末	平成14年 6月末	比較
総件数	328件	296件	+32件
人身事故	64件	83件	-19件
死者	1人	5人	-4人
傷者	102人	108人	-6人
物損事故	264件	213件	+51件

大野らしいと(17)
「霧降の滝」は国道一五八号沿い、和泉村との境界近くにあります。水量が豊富で、夏でも枯れることなく流れ落ちています。数台分の駐車スペースや、ベンチなどがあり、運転途中の休憩スポットとしてドライバーの涼感を誘い親しまれています。

編集後記
景観賞などの募集が始まりました。身近にある何気無い風景でも、写真を撮ろうとしてその美しさに「はっ」とさせられることがあります。まだまだ知らない「ええとこ」がたくさんあるんだなと。皆さんの知っている「ええとこ」ぜひ紹介してください(養)



尾崎敏夫邸(明倫町四一七)
六間から本町通りを南へ、お寺の近くに位置。大正末ごろに現在の母屋が建築されたそうで、二階部分の壁が、袖壁の内面を含め黒色で統一されているところが特徴です。

景観特選おのの⑤

平成13年度から市が認定を進めている将来に残していきたいと思う大野らしい建築物や自然などを紹介します。



辰水書芸院(明倫町六一二十二)
三番通り沿い、六間から南へ入った場所に位置。隣接する建物との棟割長屋形式で、一階の引き違い戸や出格子、二階の手すり付き窓などが美しい外観を形成しています。



夏たけなわ。今年も暑い日が続くだろう。冬生まれの私にとって、夏が一番苦手な季節である。そんな私の夏は対策の一つが「盆おどり」である。生ビールなどで暑さをしのぐより、ダイエツト効果があって健康的である▼この月は夏休みやお盆を迎え各家庭がにぎわう。特にお盆の間は、帰省客でまちじゅうに人が増えて活気づく。その期間中、六間会場などで行われる「越前おののおどり」を楽しむことで、暑さを忘れ、夏はてを防止、ストレスを解消するのである▼それだけではない。おどりの輪から会場の人々を見ると、毎年帰って来る人、四五年ぶりに帰って来た人、観光で来た人とさまざまだが、そんな人たちと市民が一緒になって、大野の夏を楽しむ人間模様が素晴らしいのである。今年も多くの人が来て欲しいものだ▼先日新聞で、上庄地区婦人会が中心となって、地元に残る伝説を基にした「麻那姫音頭」と「ヨサイ麻那姫」の普及活動を進めているという記事を見て興味を持った。原曲をそのまま生かして未永く踊り継いでいるものと、今や全国的に大流行しているYOSAKOI風にリズムミカルでやや激しいものとの二曲へ編曲し、練習を重ねているという。同地区の夏祭りに出かけてみようかと心待ちにしている▼六間会場にもYOSAKOIが登場する日が来るのだろうか?今年の夏も、夏はてなどしてはられないのである(小)